

清原貞雄 きよはら せいゆう 日本思想史學者、文學博士。明治十八年一月十日大分縣生れ、昭和二十九年九月十二日歿（八五—一九〇）。京都帝國大學文科大學國史學科卒。廣島高等師範學校教授を經く、廣島文理科大学教授を務めた。

著書：『日本道德論』（大正十五年四月十二日改造社）、『神道と日本文化』（大正十五年八月二十日大鏡閣）、『國民精神の史的考察と吾等の覺悟』（昭和二年十月二十日大阪・大阪府督學課）、『提呈する國』（昭和四年十月十五日精華房）、『日本國民の精神』（昭和六年一月十日明治圖書株式會社）、『改修身教授大資料』（昭和七年五月二十日中文館書店）、『建武の中興』（昭和九年十二月二十日建設社）『少年大日本史』（）、『英雄教育法』（合著、昭和十年四月十二日教育振作刺語陛下賜記の事業部・小學校教育精神作興會編刊）、『明治初期文化史』（昭和十年五月二十九日賢文館）、『國體論史』（昭和十四年一月二十日東洋圖書株式合資會社）、『神道史講話』（昭和十四年二月二十日白鳳書局）、『學制の新體制』（合著・大阪毎日新聞社編、昭和十六年十一月十日白鳳書局）、『日本武士道』（昭和十七年四月二十日學智社）『學智社文庫』（）、『日本政體史論』（昭和十八年七月十五日中文館書店）、『外來思想の日本の發達』（昭和十九年二月二十日敏文館）『黎明選書』（）、『山鹿素行の兵學』（昭和十九年九月五日ダネヤモレド社）『國防科營業書』（）等。

